

千厩高校 同窓会 会長 菅原 温士

陽春の候 同窓生の皆様には、ご健勝でご活躍のことと衷心よりお喜び申し上げます。新しい年が明け、本会に新会員を迎える季節が巡って参りました。今年は、十二支の最初の年、「子年」です。「子」は、「し」とも読み、「滋」から派生したもので、「万物が滋る芽生えの時」の姿を表わしているそうです。昨年は、身近な食品から政治まであらゆるところで次々と「偽」が発覚し、食肉や野菜の産地偽装、加工食品の原材料偽造、大手菓子メーカーやファーストフード店の賞味期限改ざんなどの食品関係。他にも年金記録問題、老舗の土産品や老舗料亭の賞味期限改ざん等々、多くの業界で「偽装」が目立った一年でありました。また、今日の我が国においては、グローバル経済化における国際競争力の激化、科学技術の急速な進歩や情報化、団塊世代の大量退職、少子高齢化の到来などによる産業・経済の構造的変化、さらには雇用形態の多様化・流動化など社会の変化には著しいものがあります。急テンポで変化する世の中、今年の干支の「子」のような身軽さと知恵で乗り切りたいものです。よろしく願いいたします。

母校千厩高等学校は創立106年を経過し、地域と連携した特色ある学校づくりに取り組んで参りました。これもひとえに皆様のご理解とご支援の賜と衷心より感謝申し上げます。このような激変する社会情勢にあつて、母校の後輩生徒諸君は一生懸命励み、進学や就職、部活動等で、昨年度に増して大きな実績を挙げています。特に、進路関係では就職希望者93名全員が決定し、県下でトップをきって就職内定率100%を達成。進学では推薦で岩手大学、岩手県立大学等の国公立大に26名が、そして私立大においても39名が合格しました。

また、生徒会ボランティア活動では、病院、施設での介護奉仕や千厩駅前の花壇の手入れ、清掃などの社会福祉部門での功績がたたえられ、5月に明治神宮参集殿にて、(社)日本善行会春季善行表彰(青少年善行・社会福祉)を受けたこと。第一回マイクロロボコン高校生大会(日本工業大学百周年記念事業)では、9月に産技科の生徒が敢闘賞とアイデア賞を受賞、部活動では、囲碁将棋同好会の全国高校囲碁選手権全国大会出場(東京)、全国高校将棋選手権全国大会出場(島根)、卓球部の男子ダブルス東北高校卓球選手権大会出場、ボクシング部の個人東北選手権大会(2部)出場を果たしました。また、箏曲部が今年、8月8日～9日に全国高等学校総合文化祭(群馬大会) 日本音楽部門に出場することが決定するなど母校の名を全国に高からしめる生徒諸君の活躍は、私たち同窓生にとって、大変うれしく誇らしいものです。

さて、母校は、今年3月には以前分離・独立した藤沢高校と統合します。実に56年ぶりの再統合となります。少子化等、母校を取り巻く環境は、さまざまなかたちで変化してきています。普通科、専門学科それぞれの特色を生かしながら、新しい校風づくりに邁進するためには、同窓会が一丸となって母校の発展に尽力しなければならないと思います。

今後とも同窓会の皆様の一層のご協力とご支援をお願いし、各位のご健勝とご多幸をお祈りし挨拶といたします。